

記者発表（資料配布）（本紙を含めA4：18枚）			
月／日（曜日）	担当部署名	電話番号	発表者名 （担当者）
平成24年2月27日（月） 午前9時00分	総務課 財政室	0790-82-2549	室長 岡本隆文 （副室長 藤木 卓）

平成24年度当初予算（案）について

町では、平成24年度の当初予算（案）について、別紙のとおりお知らせします。

なお、**報道解禁日は、3月2日（金）付け掲載です**。よろしく申し上げます。

平成24年度当初予算(案)について

平成24年2月27日

【災害復興の基本方針】

絆からはじまるふるさとの復興 ～きらめくために、がんばろう佐用～

1. 予算案の概要説明

- ▼防災行政無線をデジタル整備し災害時の情報伝達機能をアップ
- ▼子ども医療費助成を拡充、中学生以下を完全無料に

平成24年度佐用町当初予算案は、一般会計130億8,492万6千円、特別会計・企業会計を合わせた総額で213億5,831万2千円になります。

一般会計は、前年度比0.4%の微増。平成21年台風第9号の災害復旧工事がほぼ終了し災害復旧費が前年度比98.5%減の380万円となったものの、災害時の情報伝達機能のアップを図るため防災行政無線のデジタル整備事業費8億7千万円余りを計上しているため、3年連続で予算額が130億円を超えました。同事業は平成25年度も継続実施し、予定事業費は総額13億円余。

災害関連予算は、防災行政無線デジタル整備事業を含めてハード事業が10億7千万円、ソフト事業が4千万円。現在、佐用町の防災行政無線は合併前の旧4町のアナログ式無線を暫定統合したもので、老朽化などによって災害時の情報伝達手段としての機能が十分とは言えません。今回デジタル方式で整備することによって、システムの統一や音声品質の向上はもちろん、親局と屋外拡声子局との通信ができるなどデジタル化のメリットを最大限に活用し、防災情報システムを強化します。自治会集会所など拠点施設には放送卓を設置し、集落内の連絡に利用してもらいます。あわせて、すべての同施設を、佐用町が合併後に整備した光ファイバ網に接続し、ケーブルテレビなどの情報取得を支援します。指定避難所となっている小中学校にはテレビ、発電機、マットなどを配備し、備品の充実を図ります。

少子化・子育て対策として、子どもの医療費助成制度を拡充し、入院・通院とも無料対象を小学6年生から中学3年生まで引き上げます。環境問題・節電対策への取り組みは、住宅用太陽光発電システム設置に対する助成制度を新設。町内業者の施工なら最大20万円の補助金を交付します。ごみの減量化と限りある資源をリサイクルするため、家庭系ごみの分別を2種類から17種類に細分化します。集落ごとの回収ステーションの設置費助成など、関連予算は7,849万円です。消防・防災関係では、西播磨3市2町の消防広域化を検討するための協議会を設置するとともに、広域消防救急無線デジタル化に向けた共同調査費を計上しています。

歳入では、町税が22億2,142万7千円で、前年度比1.6%の減。年少扶養控除の廃止などにより個人町民税が9.9%増の6億3,309万円となりますが、固定資産税は評価替えにより家屋分が減少、償却資産分についても新規設備投資が見込めないため減少し6.6%減の13億3,834万4千円を計上。

町債は、防災行政無線デジタル整備事業に8億7,220万円を充当するため、前年度比46.0%増の19億9,925万9千円を見込んでいます。

平成22年度に創設した災害復興基金から4,963万5千円を取り崩し、災害関連事業の荒廃溪流等整備事業などに充てます。

一般財源の不足額は1億6,100万円となり、財政調整基金を取り崩し予算に繰り入れています。以上

2. 添付資料

- (1)平成24年度当初予算(案)資料
- (2)新規主要事業等補足説明資料

3. 町議会日程

当該予算(案)についての町議会審議日程

- (1)本会議提案 3月2日(金) **(報道解禁 3月2日)**
- (2)予算委員会 3月5日(月)、 3月6日(火)
- (3)本会議採決 3月26日(月)

以上の予定になっておりますので、取り扱いについてご配慮願います。

担当課	総務課財政室
担当者	藤木 卓
連絡先	0790-82-2549

平成 24 年 度

当初予算（案）資料

目 次

- | | |
|-----------------------------|------|
| 1. 会計別予算額一覧表 | P. 1 |
| 2. 一般会計予算 歳入歳出の内訳 | P. 2 |
| グラフ | P. 3 |
| ①一般会計 公債費の推移 | |
| ②一般会計 基金残高の推移 | |
| ③一般会計 町債残高の推移 | |
| 3. 新規主要事業 | P. 4 |
| 4. 町税の内訳 | |
| 5. 基金現在高の状況 | |
| 6. 町債現在高の状況 | |
| 7. 災害復旧・復興関係予算 | P. 5 |

1. 平成24年度 佐用町会計別予算(案)額一覧

(単位:千円)

会計区分	本年度	前年度	比較	伸率%	備考	
一般会計	13,084,926	13,036,438	48,488	0.4		
1 国民健康保険特別会計	2,338,854	2,271,557	67,297	3.0		
2 老人保健特別会計	—	683	—	—	会計廃止	
3 後期高齢者医療特別会計	288,059	260,354	27,705	10.6		
4 介護保険特別会計(事業勘定)	2,061,398	1,933,871	127,527	6.6		
介護保険特別会計(サービス事業勘定)	8,656	9,035	△ 379	△ 4.2		
5 朝霧園特別会計	127,147	128,117	△ 970	△ 0.8		
6 簡易水道事業特別会計	819,786	962,364	△ 142,578	△ 14.8		
7 特定環境保全公共下水道事業特別会計	1,035,504	1,000,358	35,146	3.5		
8 生活排水処理事業特別会計	512,773	545,018	△ 32,245	△ 5.9		
9 西はりま天文台公園特別会計	181,478	181,869	△ 391	△ 0.2		
10 笹ヶ丘荘特別会計	119,931	116,951	2,980	2.5		
11 歯科保健特別会計	26,816	29,707	△ 2,891	△ 9.7		
12 宅地造成事業特別会計	29,734	47,655	△ 17,921	△ 37.6		
13 農業共済事業特別会計	98,388	100,730	△ 2,342	△ 2.3		
14 石井財産区特別会計	3,653	3,628	25	0.7		
特別会計合計	7,652,177	7,591,897	60,963	0.8		
水道事業企業会計	収入	442,409	678,907	△ 236,498	△ 34.8	
	支出	621,209	842,285	△ 221,076	△ 26.2	
一般・特別・企業会計 総額	21,358,312	21,470,620	△ 112,308	△ 0.5		

2. 平成24年度佐用町一般会計予算(案) 歳入歳出の内訳及び資料

(1) 歳入

(単位：千円)

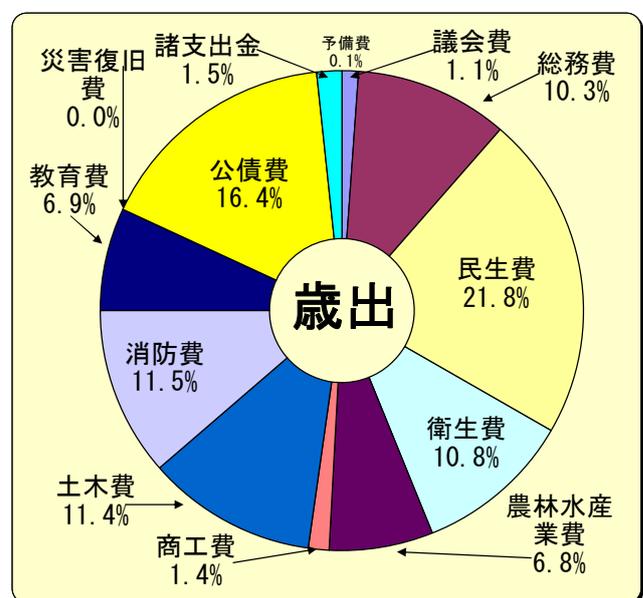
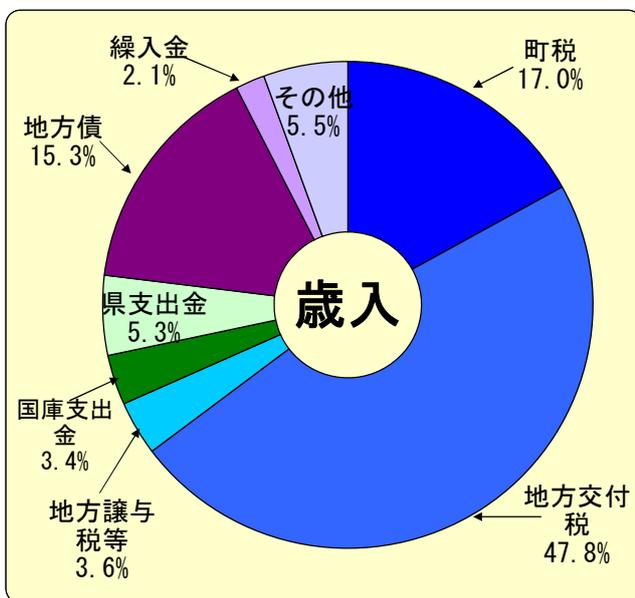
区 分	平成24年度 A		平成23年度 B		増減額 A-B	増減率 (%)
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)		
町税	2,221,427	17.0	2,256,807	17.3	△ 35,380	△ 1.6
地方交付税	6,249,976	47.8	5,871,500	45.0	378,476	6.4
地方譲与税等	475,000	3.6	519,000	4.0	△ 44,000	△ 8.5
国庫支出金	440,099	3.4	604,519	4.6	△ 164,420	△ 27.2
県支出金	699,746	5.3	1,042,022	8.0	△ 342,276	△ 32.8
地方債	1,999,259	15.3	1,369,618	10.5	629,641	46.0
繰入金	276,124	2.1	387,509	3.0	△ 111,385	△ 28.7
その他	723,295	5.5	985,463	7.6	△ 262,168	△ 26.6
歳入合計	13,084,926	100.0	13,036,438	100.0	48,488	0.4

その他(平成24年度)
分担金負担金
138,968千円
使用料・手数料
286,411千円
財産収入
106,912千円
諸収入
185,001千円
など

(2) 歳出

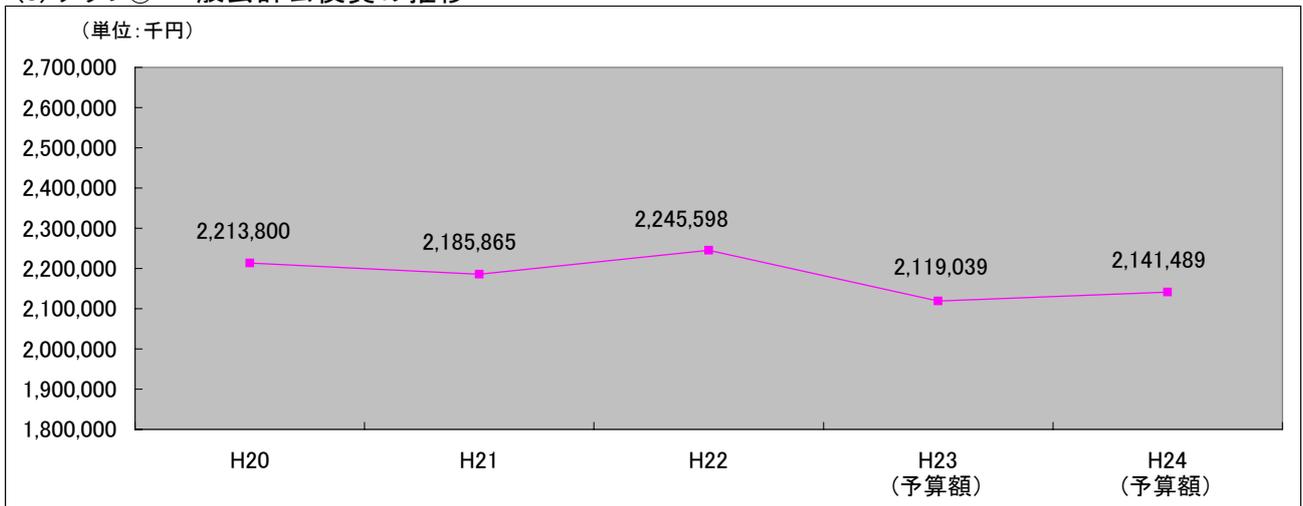
(単位：千円)

区 分	平成24年度 A		平成23年度 B		増減額 A-B	増減率 (%)
	予算額	構成比(%)	予算額	構成比(%)		
議会費	143,479	1.1	159,114	1.2	△ 15,635	△ 9.8
総務費	1,348,188	10.3	1,396,305	10.7	△ 48,117	△ 3.4
民生費	2,856,045	21.8	2,864,967	22.0	△ 8,922	△ 0.3
衛生費	1,408,103	10.8	1,369,008	10.5	39,095	2.9
農林水産業費	887,097	6.8	864,489	6.6	22,608	2.6
商工費	181,833	1.4	185,180	1.4	△ 3,347	△ 1.8
土木費	1,491,920	11.4	1,943,213	14.9	△ 451,293	△ 23.2
消防費	1,502,410	11.5	580,999	4.5	921,411	158.6
教育費	908,463	6.9	1,067,017	8.2	△ 158,554	△ 14.9
災害復旧費	3,800	0.0	261,518	2.0	△ 257,718	△ 98.5
公債費	2,141,489	16.4	2,119,039	16.3	22,450	1.1
諸支出金	202,099	1.5	215,589	1.6	△ 13,490	△ 6.3
予備費	10,000	0.1	10,000	0.1	0	0.0
歳出合計	13,084,926	100.0	13,036,438	100.0	48,488	0.4

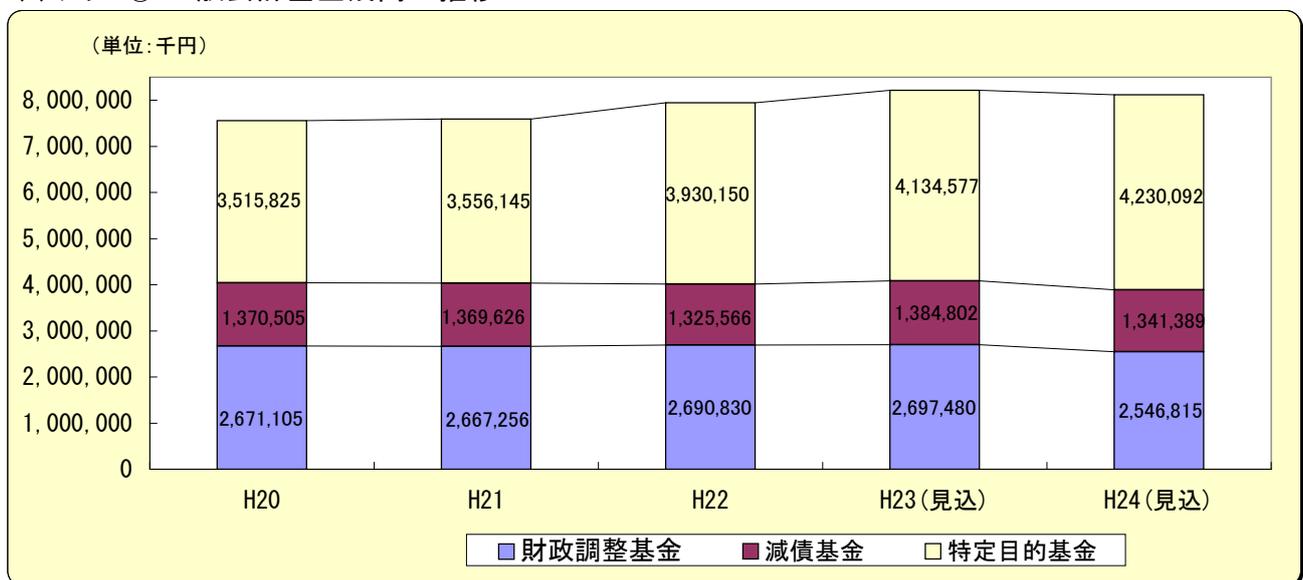


【歳入】
 ○町税は、個人町民税が年少扶養控除の廃止(影響額42,466千円)などで増加する一方、固定資産税が評価替えなどの影響で減少するためトータルで35,380千円の減少。
 ○県支出金の大幅な減少は、農林水産施設災害復旧費補助金の皆減(△241,707千円)が要因。
 ○地方債の増加要因は、防災行政無線デジタル整備事業の起債872,200千円。
 ○その他の減少要因は、平成23年度事業町営久崎住宅の移転改築に伴う移転補償費の皆減(△307,800千円)。
【歳出】
 ○土木費の減少要因は、町営久崎住宅の移転改築が終了し事業費が皆減(△379,000千円)。
 ○消防費の増加要因は、防災行政無線デジタル整備事業費873,670千円。平成25年度分も合わせて総額13億円余を見込む。
 ○教育費は、合併以降計画的に進めてきた小中学校施設の整備事業が終了したためハード事業費が減少。平成23年度実施の三日月中学校特別校舎耐震化事業により、小中学校の耐震化率100パーセントを達成。
 ○災害復旧費は、農林水産施設災害復旧事業の一部を残すだけとなり、対前年度比△98.5%と減少率が大きい。

(3) グラフ① 一般会計公債費の推移



(4) グラフ② 一般会計基金残高の推移



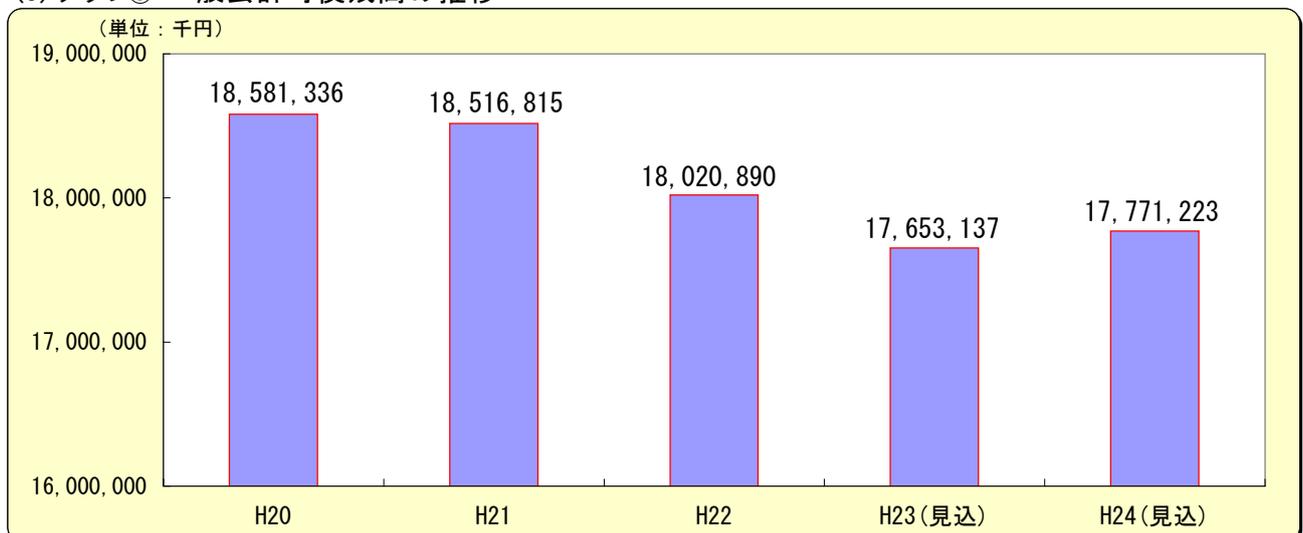
◆基金の用語解説

財政調整基金…予測できない収入の減や、支出の増加に備えて設けられる基金

減債基金…公債費の増加に備えて積み立てられた基金

特定目的基金…その他特定の目的のために積み立てられた基金(公共施設整備基金、合併振興基金など)

(5) グラフ③ 一般会計町債残高の推移



3. 平成24年度 佐用町新規主要事業

災害復旧・復興

※詳細次ページ

●被災地支援活動に向かうボランティアバス運行費用を負担	1,000 千円
●防災行政無線のデジタル整備 (あわせて各自治会集会所等に光ファイバを引き込み情報伝達手段を充実)	873,670 千円
●各支所にフェニックス防災システム支援端末を設置	911 千円
●発電機、テレビなど避難所備品の充実	2,363 千円
●自主防災組織への活動助成	3,400 千円

情報・通信

●事務用パソコンのOSの更新(XP→Windows7へ)	31,580 千円
●佐用チャンネルをハイビジョン化し高画質に	11,550 千円

地域活性化

●コミュニティバス等運行の充実 (船越線、江川線に三日月～播磨科学公園都市線を追加)	15,797 千円
●中山盛土場活用計画の作成	5,000 千円
●笹ヶ丘公園活性化計画の作成	1,000 千円

少子化・子育て

●乳幼児らの医療費助成制度を拡充 (小学6年生以下無料 → 中学生以下を無料に)	69,577 千円 (3,500) 千円(拡充分)
●子ども手当	279,600 千円

健康・福祉

●病院群輪番制運営に対する助成	21,750 千円
●南光地域福祉センターの改造工事	32,200 千円

環境衛生

●住宅用太陽光発電システム設置に対する助成	5,600 千円
●ごみ分別収集に向けた取り組み @コンテナ、ネットかごなどの購入	18,790 千円
@資源回収ステーション設置に対する助成	45,000 千円
@パッカー車、パワーゲート付きダンプ車の購入	14,700 千円

農林業振興

●新規就農者に対する給付金	7,500 千円
●地域農業の担い手に農地を貸し出す人に対する助成	6,951 千円

商工業振興

●町商工会館改修費に対する助成	30,000 千円
-----------------	-----------

建設

●橋梁長寿命化のための詳細設計作成と修繕工事	16,000 千円
------------------------	-----------

消防・防災

●消防団再編に伴う分団車両の購入(3台)	21,600 千円
●西播磨地域消防広域化を検討するための協議会を設置	2,800 千円
●消防救急無線デジタル化のための西播磨地域共同調査費	7,413 千円

4. 町税の内訳(補足)

(単位:千円、%)

区分	本年度 a	前年度 b	増減額 a-b	増減率	備考
普通税	2,220,991	2,255,723	△ 34,732	△ 1.5	
町民税	732,401	676,776	55,625	8.2	
個人	633,090	575,941	57,149	9.9	
法人	99,311	100,835	△ 1,524	△ 1.5	
固定資産税	1,338,344	1,433,235	△ 94,891	△ 6.6	
その他(軽自動車税など)	150,246	145,712	4,534	3.1	
目的税	436	1,084	△ 648	△ 59.8	
入湯税	436	1,084	△ 648	△ 59.8	
合計	2,221,427	2,256,807	△ 35,380	△ 1.6	

5. 一般会計基金現在高の状況(補足)

(単位:千円)

区分	財政調整基金 e	減債基金 f	その他特定目的基金 g	一般会計合計 e+f+g
H22末残高	2,690,830 (増減額)	1,325,566 (増減額)	3,930,150 (増減額)	7,946,546 (増減額)
H23末残高見込	2,697,480 (6,650)	1,384,802 (59,236)	4,134,577 (204,427)	8,216,859 (270,313)
H24末残高見込	2,546,815 (△ 150,665)	1,341,389 (△ 43,413)	4,230,092 (95,515)	8,118,296 (△ 98,563)

6. 町債現在高の状況(補足)

(単位:千円)

区分	平成22年度末 現在高	平成23年度決算見込額			平成24年度予算計上額			増減額 d-c
		発行額	元金償還額	年度末現在高c	発行額	元金償還額	年度末現在高d	
一般会計	18,020,890	1,565,969	1,933,722	17,653,137	1,999,259	1,881,173	17,771,223	118,086
特別会計	13,698,537	89,600	976,005	12,812,132	87,400	965,223	11,934,309	△ 877,823
企業会計	857,426	12,900	37,552	832,774	68,400	40,489	860,685	27,911
合計	32,576,853	1,668,469	2,947,279	31,298,043	2,155,059	2,886,885	30,566,217	△ 731,826

7. 平成24年度 佐用町災害復旧・復興関係予算

(1)会計別災害復旧・復興関係予算額

(単位:千円)

会 計	災害関係 予算計上額	財 源 構 成					(参考) 前年度 予算額
		国県 支出金	地方債	その他 特定財源	一般財源	一般会計 繰入金	
一般会計	1,105,446	28,201	975,500	22,332	79,413		493,079
簡易水道事業特別会計	0	0	0	0		0	60,683
生活排水処理事業特別会計	0	0	0	0		0	10,795
水道事業会計	0	0	0	0		0	33,489
合計	1,105,446	28,201	975,500	22,332	79,413	0	598,046

【ソフト事業】 37,321 千円

【ハード事業】 1,068,125 千円

【合計】 1,105,446 千円

(2)予算の概要説明 ※(新)は新規事業

一般会計

■総務費

19,340 千円

- ・追悼式(8月9日開催予定)実施経費 735 千円
- (新)・被災地支援活動に向かうボランティアバス運行費用を負担 1,000 千円
- ・防犯灯整備事業(LED化340基) 17,605 千円

■民生費

10,445 千円

- ・高齢者住宅再建支援金(5件×1,000千円) 5,000 千円
- ・被災者生活復興資金貸付利子補給金負担金 542 千円
- ・住宅災害復興融資利子補給金 4,903 千円

■農林水産業費

39,450 千円

- ・荒廃溪流等整備事業(災害関連治山事業) 39,450 千円

■商工費

10,400 千円

- ・災害対策融資利子補給金 5,400 千円
- ・災害対策運転資金融資利子補給金 5,000 千円

■土木費

133,600 千円

- ・(災害関連事業)交通安全施設整備事業 3,800 千円
- ・(災害関連事業)河川維持修繕事業 21,000 千円
- ・(災害関連事業)町道上河原高岩線改良事業 7,800 千円
- ・(災害関連事業)小赤松橋改良事業 101,000 千円

■消防費

887,051 千円

- ・救助活動資機材購入費(発電機、投光器) 1,079 千円
- ・災害復興計画フォローアップ委員会経費 476 千円
- ・災害モニター(50人)の設置経費 250 千円
- ・防災研修会開催経費(自治会・職員向け) 182 千円
- ・災害対応物資購入費(非常食・パック毛布・避難所用マット) 4,720 千円
- (新)・防災行政無線デジタル整備事業 873,670 千円
- (新)・各支所にフェニックス防災システム支援端末を設置 911 千円
- (新)・発電機、テレビなど避難所用備品の充実 2,363 千円
- (新)・自主防災組織への活動助成 3,400 千円

■教育費

1,360 千円

- ・台風第9号災害遺児等修学・生活支援金(対象者5人) 1,360 千円

■災害復旧費

3,800 千円

- *農林水産施設災害復旧費(平成23年度予算額 257,618千円) 3,800 千円

平成24年度佐用町当初予算(案)

新規主要事業等補足説明資料

No.	事業名等	担当部署名	ページ
1	被災地支援活動(ボランティアバス運行等)経費負担事業	企画防災課 復興企画室	1
2	防災行政無線デジタル整備事業	総務課 広報室	2
3	各支所フェニックス防災システム支援端末機設置事業	企画防災課 まちづくり防災室	3
4	指定避難所備品整備事業	企画防災課 まちづくり防災室	4
5	自主防災組織への活動助成事業	企画防災課 まちづくり防災室	5
6	佐用町自主放送ハイビジョン化事業	総務課 広報室	6
7	乳幼児等医療費助成事業の拡充	住民課 年金・保険室	7
8	佐用郡病院群輪番制運営事業補助	健康福祉課 健康増進室	8
9	住宅用太陽光発電システム設置補助事業	住民課 環境衛生対策室	9

事業名 被災地支援活動（ボランティアバス運行等）経費負担事業

1. 事業目的

近年、毎年のように大規模な自然災害が発生しており、早期復旧に向けては、被災地内外からのボランティアによる支援が必要不可欠だといわれている。

佐用町では、平成21年台風第9号災害時に全国から多数のボランティアに支援いただいたことを決して忘れることなく、同様に被災した県内外の被災地の支援を迅速に行う。

2. 事業内容

自然災害等でボランティアによる支援を必要とする被災地に、町社会福祉協議会などが町民等から募集したボランティアを派遣するバスの運行経費（の一部）を負担する。

不測の災害に備え、運行経費を当初から予算化しておくことにより、予算措置に伴う派遣の遅れを防ぎ、迅速に被災地支援を行うことができる。

3. 予算額

1,000千円

担当課	企画防災課復興企画室
担当者	久保 正彦
連絡先	0790-82-0664

事業名 防災行政無線デジタル整備事業

1. 事業目的

本町においては、合併以降、旧町のアナログ式防災行政無線を暫定統合し、運用しているが、機器の老朽化とシステム上の限界によって災害時の情報伝達手段としての機能が不十分である。

情報伝達手段の中で最も安定した防災行政無線設備をデジタル方式で整備（平成24・25年度2カ年事業）するとともに、複数の通信手段を確保するため、光ケーブル網を活用した佐用チャンネル放送と連動した緊急L字放送の導入など、新たな防災情報システムの中核ツールとしての機能を強化する。

2. 事業内容

- 基地局・中継局整備
- 屋外拡声子局の増設
- 戸別受信機の設置ほか
- 総合的な防災情報伝達システムの整備

3. 予算額

（24年度） 873,670千円

（総事業費） 1,314,300千円

担当課	総務課広報室
担当者	谷口・間嶋
連絡先	0790-82-2549

事業名 各支所フェニックス防災システム支援端末機設置事業

1. 事業目的

現在、フェニックス防災システムの端末機は本庁にのみ3台（うち支援端末機2台）ある。各支所（3箇所）にも設置することにより、防災情報の即時取得を図るとともに、本庁との情報の共有化を図る。また、端末機器を増設することにより、災害時における兵庫県との主たる連絡手段の途絶を防ぎ、各支所において速やかな防災活動を展開する。

2. 事業内容

上月、南光及び三日月の各支所にフェニックス防災システム支援端末機を設置する。
パソコンは既存の物を利用し、配線工事のみ行う。

3. 予算額

911千円

担当課	企画防災課まちづくり防災室
担当者	森田 善章
連絡先	0790-82-0664

事業名 指定避難所備品整備事業

1. 事業目的

町の指定避難所の環境整備のため、避難経験者の意見を聴くとともに、東日本大震災被災地に派遣した職員が避難所支援で学んだことを参考に、備品の充実を図る。

2. 事業内容

▽情報収集に必要なテレビ▽断水時でも無臭で使用できる簡易トイレ▽停電時にも最低限度の照明等が確保できる発電機▽避難スペース用のマット——など、避難所用の備品を購入する。

3. 予算額

2, 3 6 3 千円

担当課	企画防災課まちづくり防災室
担当者	森田 善章
連絡先	0790-82-0664

事業名 自主防災組織への活動助成事業

1. 事業目的

地域防災力を向上させるため、自主防災組織を実働性のある組織として確立するよう育成し、「自分たちの地域は自分たちで守る」という住民意識の高揚を図る。

2. 事業内容

実働性のある自主防災組織の構築を図る上で重要になるのが、自主防組織内の住民名簿である。住民名簿の作成を最優先課題とし、要援護者の把握を含む地域住民の名簿を作成（定期的な更新が必要であるため、なるべくデータ保存）し、災害時における要援護者支援などの訓練活動を行う自主防災組織に、1世帯当たり500円を助成する。

3. 予算額

3,400千円

担当課	企画防災課まちづくり防災室
担当者	森田 善章
連絡先	0790-82-0664

事業名 佐用町自主放送ハイビジョン化事業

1. 事業目的

平成20年4月から開始しているケーブルテレビの自主放送はアナログ画質で放送しているが、昨年7月に地上アナログテレビ放送が終了し、デジタル放送へ移行した結果、自主放送の映像と音質は他チャンネルと比較して極めて悪い状態にある。ハイビジョン化によって、高画質で高音質な番組を提供するとともに、災害時の文字放送や河川監視カメラ映像が明瞭に視聴可能になるなど、防災情報伝達システムとしての機能も併せて強化する。

2. 事業内容

編集機器及び送出サーバなどの入れ替え

3. 予算額

11,550千円

担当課	総務課広報室
担当者	原井 誠
連絡先	0790-82-2549

事業名 乳幼児等医療費助成事業の拡充

1. 事業目的

子どもの医療費を助成することによって、次代を担う子どもの健全育成を図る。また、少子化対策の一環として、子どもを安心して生み育てることができる環境づくりを推進するため、子どもをもつ家庭の経済的負担の軽減を図る。

2. 事業内容

現在、小学校卒業までを無料（中学生については、一部負担金あり）としているが、平成 24 年 7 月 1 日から、中学校卒業までを無料とする（入院・通院とも）。

3. 予算額

69,577千円（うち拡充分3,500千円）

担当課	住民課年金・保険室
担当者	井村 文夫
連絡先	0790-82-0660

事業名 佐用郡病院群輪番制運営事業補助

1. 事業目的

町内の病院が実施する「病院群輪番制運営事業」に対して運営費補助金を交付し、休日、夜間における重症救急患者の医療を確保する。

2. 事業内容

(1) 補助対象となる病院

相当数の病床を有し、医師及び医療従事者等と救急専用病床を配置し、二次救急医療施設としての診療機能を有する町内の病院

(2) 補助金の交付対象経費

病院群輪番制の運営に必要となる給与費（常勤職員給与費、非常勤職員給与費）

(3) 補助金の額

- ①休日診療（午前8時から午後6時） 日額5万円
- ②夜間診療（午後6時から翌日の午前8時） 日額5万円

3. 予算額

21,750千円

担当課	健康福祉課健康増進室
担当者	小西 國彦
連絡先	0790-82-2079

事業名 住宅用太陽光発電システム設置補助事業

1. 事業目的

地球温暖化対策として化石燃料に依存しない新エネルギーの重要度は高く、脱原発依存への方針転換により、いっそうの普及の必要性が求められている。

このような中、本町においても新エネルギーである太陽光発電の普及を促進し、環境にやさしいまちづくりを推進することを目的とする。

2. 事業内容

(1) 補助対象となる発電システム

- ①低圧配電線と逆潮流有りで連携したシステム
- ②未使用品であるシステム
- ③電力会社と電力需給契約を締結したシステム

(2) 補助金の交付対象要件

町内に住所がある人で、町内の自己の居住する住宅に新たに対象システムを設置したり、対象システムが設置された住宅を購入・新築した場合

(3) 補助金の額

- ①町内業者施工の場合 システム 1kw あたり 5 万円 (上限 20 万円)
- ②町外業者施工の場合 システム 1kw あたり 2 万 5 千円 (上限 10 万円)

3. 予算額

5, 600 千円

担当課	住民課環境衛生対策室
担当者	福岡 真一郎
連絡先	0790-82-0660